§3 プログラム展開

13時00分〜14時10分 (70分) 担当：富田

●セッションの目標

参加者は、このセッション終了時に次の事が達成できる。

1) 実施直前の現場でのチェックが大切であることを知る。

2) 状況判断の重要性を知る。

●指導上のねらい

1) 机上だけではなく、実際に現場での判断もカギである。

●セッション展開にあたっての留意点

1) 講義は机上で行うため、企画計画と実施展開の区別をつける。

→参加者自身に考えて貰う。フィールドで想定し、チェックしてみる。

●準備品(資材・資料)

・ホワイトボードか黒板

・プロジェクター

・付箋紙5cm x 5cm程度の大きめのもの 1-2個/グループ

・リーダー会議録の用紙 1-2枚/グループ

・A４バインダー 1個/グループ

・A３程度の大き目の用紙 1-2枚/グループ

●他のスタッフへの依頼事項

・グループワークへのファシリテートをお願いします。

●ヒント

・参加者自身に、企画計画時の素案を元にして、実施段階を想定し、

　安全危機管理面のポイントを具体的に挙げて貰う（フィールドに出るのも良い)。

・次いで要件を解説する

・欠けているポイント、補足すべきポイントについて、参加者同士で確認、討議。

　必要に応じフィールドを再確認しても良い。

●セッション構成と展開

・講義（60 分）→まとめ（10 分）

→導入(5分)→展開(55分)→まとめ(5分)、計65分を目安に

**1. 導入 [5分]** 13:00-13:05

・歌( )

・グループ替え：セッション2のグループで再び集まる

・前のセッションの振り返り。

　　プログラムの企画計画時の安全危機管理の取り組み

　　安全に活動を行うためのポイント、下見の重要性、潜在危険のチェックポイント等

・このセッションの目標を紹介する。

　　ここでは実施段階でのポイント、状況判断について考えてゆく。

**2. 展開 [55分]** 13:05-14:00

2-1. グループワーク13:05-13:30

課題：企画計画時の素案を元にして、実施段階を想定し、フィールドに出て

　安全危機管理面のポイントを具体的に挙げてみる。

・実際に戸外へ出て、活動を想定し(実際に模擬集会を行う訳ではない)、

　活動の概要と安全危機管理面のポイントを用紙に記入する。(20分間)

・各グループで発表(5分間)

例：「春だ、外へ出よう」

　　BVS：春の花、草笛遊び

　　CS：七草粥、野点体験、草餅or桜餅作り

　　BS：筍ご飯、竹で器と箸を作る、竹で炊事

　　VS：自転車で移動キャンプ、課題の設定

2-2. 要件の解説13:30-13:45

2-2-1. 実施段階でのチェックポイント：安全管理の三大要素（HB p24）

①フィールド

・気象状況の把握

・危険個所の再確認

・用具や装備の確認

・夜間の際の安全管理

※移動も含む

②スカウト

・人数の確認

・スカウトの健康管理

・弱者への配慮

・心の安全

③指導者

・役割分担と分担役務の理解、そしてコミュニケーション

・指導者自身の安全と健康管理

・万が一の想定

・指導者はスカウトから目を離さないこと

2-2-2. 活動前のポイント

・安全管理の取り組みを説明（HB p25）

・安全ミーティングの実施

・現地緊急時連絡先・連絡手段の確認

・現地と団本部との連絡体制の確認

2-2-3. 活動中のポイント

・安全管理の取り組みを説明（HB p25）

・救急箱、ファーストエイドの携行

・点検

2-2-４. 健康衛生

①健康

・健康状況を把握

・健康を維持

・キャンプ日程表

②衛生

・衛生管理

2-2-5. フィールド、アクテビティ別の管理

※詳しくは安全危機管理トレーニングで行う。ここでは要旨だけ

2-2-6. その他、補足

・説明をする力：特に子供達に対して

・みんなで協力する、皆の目で確認する

・安全と危険は紙一重：ワクワクドキドキはキワの部分

・年齢に応じた声かけ：言わないのも手

・スカウトのみでなく保護者/指導者/団委員の怪我も想定

・保護者との会話(子供のくせ、かぶれ易さ、アレルギー、等)

2-3. フィードバック13:45-14:00

・HB p28,29,30を配布。

・解説のあった要件やHBを参考に、欠けていたポイント、補足すべきポイント

　について、グループ内で確認、討議。

・必要に応じフィールドを再確認しても良い。

**3. セッションのまとめと確認事項 [5分]** 14:00-14:05

・プログラム展開前の危機管理

　　準備に、やりすぎはない

・実施段階のチェックポイント

　　安全管理の三大要素

・プログラムを変更する勇気

 　安全上問題が危惧された場合、変更もしくは中止する勇気が必要。

　　変更に対する準備も重要。

　　迷っているなら、中止する。

※経験を積むべし。疑似体験も活用すべし。状況対応力、判断力と行動力を養おう。

以上